

第23回国際言語学オリンピック

ルーマニア・ブカレスト、2026年7月26日～8月2日

団体戦 答案

(a)

1. O	2. I	3. H	4. M	5. K	6. Q	7. D	8. J	9. P
10. G	11. A	12. N	13. B	14. F	15. E	16. C	17. L	

(b)

18. なし	19. CC	20. II	21. RR	22. FF	23. AA	24. BB	25. なし
26. PP	27. HH	28. DD	29. LL	30. MM	31. NN	32. OO	33. なし
34. EE	35. なし	36. KK	37. QQ	38. なし	39. JJ	40. GG	41. なし

(c)

18. Txibazûnyān Llwâ' gāxhbâtâ'wān máskálykī.

25. Tebidun rô'wtę byākān lê'n dyěndkī.

33. Zęky gūk xkālbāyn dáKrésęnsy.

35. Ręky rékā'n xíndęky nígyénēn.

38. Zittę mędy rāp dáKrésęnsy.

41. Xtxī'nīn rínnīdān bákātsān lógedxrę'.

(d)

1. D	2. なし	3. E	4. B	5. なし	6. A	7. なし	8. F	9. C	10. なし	11. なし
---------	----------	---------	---------	----------	---------	----------	---------	---------	-----------	-----------

(e)

A. このよう	B. 彼	C. たった1文 ^{もん} しか稼げないものである私たちの共同体
D. こんな人物	E. なし	F. なし

- (f) 2. 彼は誰かであった...彼は貧しい人たちを助けたものだ。
5. 彼は風に変身することができ、ワシのように昇ることができる人物であった。
7. そして、もし彼が風に変身したものなら彼はこのようであった...
10. さて、彼は戻ってくることができた...彼は私たちの貧しい共同体を助けるために戻ってくることができた。
11. それを必要としたものである私たちの共同体の暮らしを助けたこの誰かの物語はこのようである。

(g)

1. P	2. H	3. K	4. M	5. F	6. G	7. C	8. T	9. Q	10. S
11. L	12. A	13. O	14. G	15. I	16. N	17. J	18. E	19. B	20. D

- (h) 動作主動詞（すなわち、主語が動作主で、その動作に対して一定の意思や制御力を有する動詞）では語幹交替が起こる。動詞「ある状況になる」は動作主動詞でない。語根bēzは中音調をもち、それによりribēzáでは直前の声調が中音調に、直後の声調が高音調に変化する。動詞「待つ」は動作主動詞で、そのためribēzáは語幹変化により派生される（すなわち、bēzがbēzに変化した）。その後この上昇調は中音調になり、さらに直後の音節が高音調に変化した（すなわち、-bēzáとなった）。しかしながら、もともとこの声調は中音調ではなく上昇調であったため、直前の低音調は中音調に変化せず、ribēzáとなった。

(i)

21. dx̣ɸbyān	22. bānyān	23. rityēsān	24. basēdān	25. rīllyāná
26. bíxa	27. dx̣ɸbya	28. bányá	29. rityēsá	30. basēda

- (j) 31. Tx̣ıkyt̚ē gūbānyá le'n nēzdāyn rāw gāxhbázūnyá gedxr̚ê'.
32. Txiábadxāgá dbísyê txirúdbéll gaxyga logedxr̚ê', txyáká lādúm.
33. Per txirūnyá zēky gāxhrikāzā rát̚e nirikazdúm.
34. Txiradyeka gubidx gāxhribāna xmēdy dbénny r̥ík̚w le'n kūdr̚ê'zy gubidx.
35. Txirútxir̚ê'zy gubidx gāxhrukātsāin le'n kūdradyeka gubidx tébāyn xsâ'.